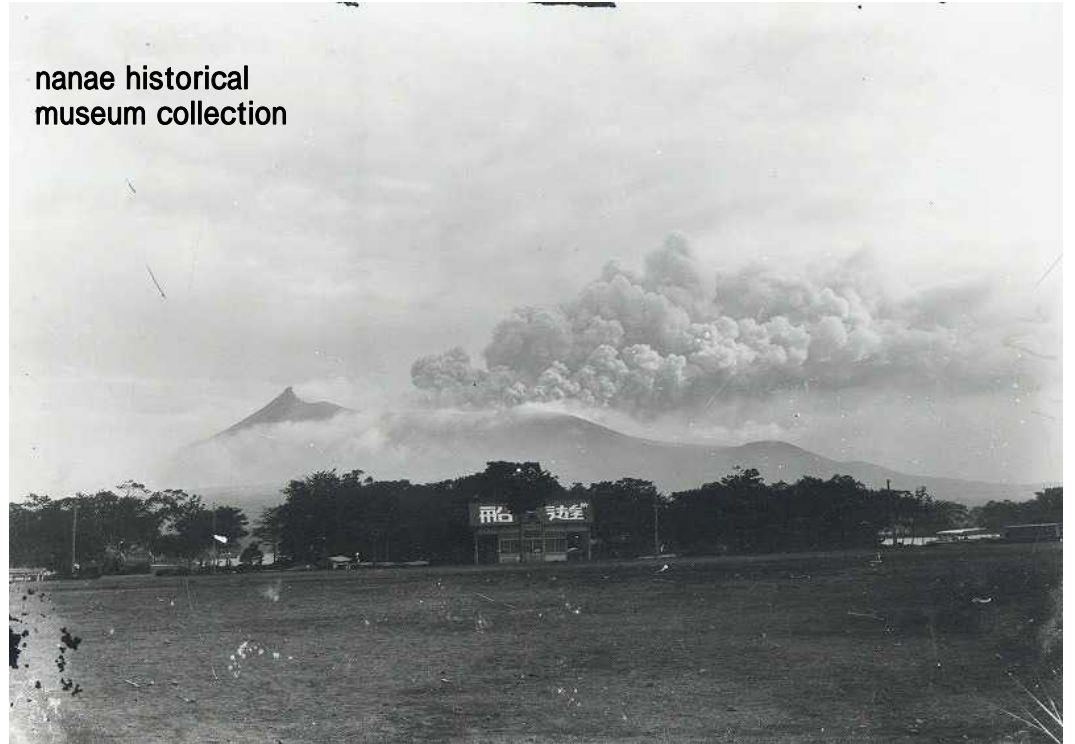


# Pichan ~ピチヤリ~

七飯町歴史館だより  
第32号

nanae historical  
museum collection



## ななえ古写真物語

VOL. 32

### 自然の猛威

～駒ヶ岳の大噴火～

昭和4年

大沼公園にて

平成8年から12年までの間に起こった小噴火などの火山活動の為、「山頂から半径4キロメートル以内の入山規制」が、今年6月から10月までの土曜・日曜・祝日という限定で、一部緩和され「馬の背」地点まで登山できるようになりました。

私も含め、このニュースに心躍らせた登山愛好家の方は多いと思います。これまで、調査登山などでしか入山できなかった駒ヶ岳が、一部ではあるものの多くの方が楽しめるようになったのは、現在の駒ヶ岳の火山活動の噴火警戒レベルが「平常」の状態にあるからだと思いません。

しかし、忘れてはいけないのは、決して噴火しないわけではなく、火山活動が静まっただけであることです。現在も、気象庁や北海道大学関係機関による火山観測が続けられている活火山であることを忘れ、規則やマナーを守らない場合、大きな怪我につながってしまいますので、注意してください。

また、自然は時折、人間の予測を遥に超えた活動をすることがあります。その事を忘れない為にも、今回紹介する写真は最後の噴火になりました昭和4年の駒ヶ岳大噴火の様子になり

ます。写真の中央に「遊船」（右読み）とかがかれた小屋が見えますので、大沼公園広場から駒ヶ岳を撮影したものと推測できます。そして、駒ヶ岳の馬の背付近から黙々と立ち上がっている煙が当時の噴火の大きさを物語っています。噴火当初は、函館山の麓付近からでも、黒煙が立ち上がる様子が見えたというほどですから、この写真は、おそらく噴火活動が沈静化しつつある頃に撮影したと考えられます。

昭和4年の大噴火の被害のほとんどは、降下軽石と軽石流によるものが多く、死者2名、全壊を含む家屋の倒壊は約1900棟にも及んだといわれます。ちなみに、この写真のネガに相当するものは、ガラス板で出来ており、当時大沼で写真館を営んでいた方から寄贈された貴重な資料として当館で保管されています。

時折、その猛威を振るう駒ヶ岳ですが、その火山活動によって、川がせき止められ作られた大沼・小沼・じゅんさい沼などの湖沼群と湖に浮かぶ島々が形成され、現在の素晴らしい大沼の景観が作られました。

神の手作りによって残された自然景観の美しさを私たちが後世に伝える努力を怠らなくてはならないことを忘れずに・・・。

## 7日

夜の博物館第2回目は「縄文時代を考える」と題し、実際に土器を観察しながら、縄文時代中期から晩期までの土器文様などが変化していることを学びました。

また、大型建造物が作られたりすることや、土器の移り変わりなどから、縄文時代の背景や環境を考察し、意見を交わしました。



講座中の一コマ

## 28日

7月のジュニア探検クラブは「縄文探検」と題して、木古内町大平遺跡の見学・発掘と、北斗市郷土資料館に行ってきました。

大平遺跡で、擦文時代の住居跡を見学させていただいた後、現場で作業をしている方達に教えてもらいながら、発掘体験に挑戦しました。今回掘らせてもらった場所は盛土とって、土器などが捨てられていた場所で、掘る前から土器などの破片が見えていて子ども達は大喜び！

作業開始からまもなく、あちこちで「あったー！」「大きいのが出てきたー！」と声が飛び交っていました。約1時間体験させていただきましたが、まだまだ掘り足りない！といった様子の子も達でした。



しっかり勉強！



これが土器の破片だよ。



時間が足りないー！

## 30日

昆虫採集・標本づくり教室を開催しました。虫の先生二人を講師にまねき、午前中は東大沼へ虫捕りへ。子ども達は、慣れない大きな網を両手で持ち、蝶やトンボを見つけては一目散に走っていました。

午後からは、歴史館に戻り、捕った虫を標本にする作業をしました。死んでいる事を確認してから、展翅板という板に乗せ、虫に針を刺し、形を整えながら周りも針で固定していきます。始めは、恐る恐る作業していましたが、2匹、3匹と数をこなしていくうちに真剣な表情になり夢中になっていました。このまま二週間ほど乾かして完成です。



虫捕りに出陣だー！



集中してます



### 9月の予定

1	水	夜の博物館 前期講座
2	木	
3	金	
4	土	横津の植物観察会
5	日	せかいにひとつだけのリンゴジャムづくり
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	横津の植物観察会 予備日
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	敬老の日
21	火	
22	水	
23	木	ふぁみりーでいみゅーじあむ
24	金	
25	土	ジュニア探検クラブ
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

9月の休館日はありません

たくさんのご来場、ありがとうございました！

7月1日から開催していた「世界の昆虫展」が8月22日で終了します。小さなお子さんから大人までたくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。(A)



See you!

### 編集後記 ~tawagoto~

今年の夏は、チョウが多いように感じる。館の周りでもキアゲハやカラスアゲハといった大型のチョウが舞っている姿がよく見られ、思わず網を持ちたくなるほどだ。こういった現象は、異常な暑さが関係しているのだろうか……。しかし、お盆を過ぎたあたりから、少しずつ昆虫達の姿が少なくなり、空に浮かぶ雲も秋の様相に変化してきている……。自然に目を向けると、改めて、日本が四季の国だと感じてしまいます。(やまだひさし)

# Pichart

～ピチャリ～

第32号

平成22年8月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp